

## 平成 24 年度 施政方針

議員の皆様には、平成 24 年 3 月定例会に御参集をいただき、心から感謝を申し上げます。

本日ここに、平成 24 年度予算案、並びに諸案件をご審議いただくとともに、私の所信及び町政の基本方針を申し上げ、住民の皆様並びに議員各位の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

町長就任から早いもので 4 年目を迎えております。この間、2 度の地域懇談会を開催するなど、様々な機会、会合を通じまして、住民の皆様方から町政に対する御意見や御要望を伺ってまいりました。特に昨年の地域懇談会におきましては、本年度を初年度とする「第 5 次熊野町総合計画」をお示しし、今後のまちづくりの方向、地域の課題などを住民皆さんと、懇談いたしました。町政を取り巻く環境が目まぐるしく変化する中、こうした活動を基本に、また議員各位はもとより、住民皆さんの御理解と御協力をいただきながら、目指す将来像「ひと まち 育む 筆の都 熊野」の実現に向け、町政の舵取り役として鋭意、町政の運営に取り組んでまいります。

さて、町政を取り巻く諸情勢でございますが、

〔経済情勢への対応〕

まずは、「経済情勢への対応」についてでございます。

昨年3月、未曾有の被害をもたらした東日本大震災により、日本経済は深刻な打撃を受けました。その後、政府による数次に渡る補正予算が組まれ、現在も復旧・復興の努力がなされているところでございます。

24年度の日本経済は、欧州の経済危機、円高の問題などの不安要素を抱えておりますが、本格的な復興施策の推進により、着実な需要の拡大と雇用の創出が見込まれており、国内景気は緩やかに回復していくことが見込まれております。

〔社会保障・税一体改革について〕

また、政府においては、安定した社会保障制度を将来に渡り構築するため、「社会保障と税の一体改革」を推進しており、必要な負担を分かち合うという観点から、国民の理解と経済状況の好転を前提に、消費税収を社会保障財源化し、税率を段階的に引き上げるとしてまいります。

今後、消費税法の改正を含む税制抜本改革関連法案が年度内に提出される予定であることから、本町におきましても、

社会保障関連経費の増加傾向を踏まえ、国の動向に十分注視してまいりたいと考えます。

また、引き続き財政の健全性の確保にも十分に配慮してまいります。

〔筆産地の魅力拡大〕

次に、「筆産地の魅力拡大」についてでございます。

昨年は、女子ワールドカップで、サッカー日本女子代表が世界一となる明るい話題がございました。この功績が称えられ、「なでしこジャパン」の選手に国民栄誉賞が贈られ、その副賞として我が町の化粧筆が選ばれるという、大変名誉で、喜ばしいことがございました。

我が町の「熊野筆」という強固な地域ブランドが確立されたものであり、歴史と伝統がこの度の国民栄誉賞の副賞と繋がったものと確信しております。

引き続き、筆産地の歴史と文化を生かした町づくりを推進し、日本全国に情報発信をするなど、町の活性化に努めてまいります。

〔平成 24 年度の主要施策と具体的な取組〕

それでは、こうした諸情勢のもと、熊野町の平成 24 年度の主要施策と取組について、熊野町総合計画の施策目標に沿って申し上げます。

なお、本定例会で併せて上程しております 23 年度の補正予算案におきまして、国の第 3 次補正予算に関連する、学校施設の耐震補強に要する経費等を前倒して計上しておりますが、それらは、新年度に繰り越して実施することとなりますことから、この補正予算案も踏まえた内容といたしますので、御了承くださるようお願いいたします。

〔子どもが健やかに、たくましく育つまちとする〕

まず最初に、施策目標「子どもが健やかに、たくましく育つまちとする」についてでございます。

子育て支援でございますが、小・中学生の入院医療費の助成と、就学前の子どもを対象とした医療費の無償化を引き続き実施し、子育て世代の負担軽減を図ってまいります。

保育所におきましては、基本的な保育の他に、延長保育、病後児保育、一時保育を実施しております。本年度は、夏季の電力需要に対応した休日保育を実施しましたが、新年度におきましても保護者の多様なニーズに対応してまいります。

また、健やかな妊娠と出産を支援するため、14回の妊婦健診の実施を継続するとともに、病原体の母子感染対策として、ウイルスの抗体検査などを行ってまいります。さらに、乳児家庭の全戸訪問、乳幼児健康診査、育児相談などにより乳幼児の健康や発育の保持増進に努めてまいります。

続きまして、安心・安全の教育環境の充実についてでございますが、東日本大震災の教訓のもと、耐震性評価の低い、熊野中学校西校舎と第四小学校体育館につきましては、国の23年度第3次補正予算で追加交付される補助金と、緊急防災・減災事業債の活用によりまして、耐震補強工事を実施いたします。この度の補正予算案におきまして、これらの経費を計上するとともに、繰越事業として実施する計画でございます。さらに熊野東中学校の管理棟、特別教室棟、体育館、及び第二小学校の普通教室、特別教室の耐震補強工事の実設計を合わせて行い、27年度における学校施設の耐震化率の目標値である80%に向けて計画的に事業実施してまいります。

また、学校施設の維持管理でございますが、劣化しております第二小学校プールなどを改修いたします。

基礎学力の向上につきましては、本年度、着実に向上しており、新年度も熊野町標準学力検査をはじめ各種学力検査を実施し、児童・生徒一人ひとりに応じた指導を行ってまいります。

この学力向上と生徒指導は、密接に関連することから、本年度に引き続き、広島県の基金を活用し、学校支援員を全小中学校にそれぞれ1名配置します。また、両中学校にも、同基金を活用して生徒指導相談員をそれぞれ1名配置し、不登校気味の生徒や課題のある生徒に、きめ細かな対応をいたします。

続きまして、健やかに楽しく学べる環境の充実でございますが、新たな事業として、0歳から中学校3年生までの、全ての児童・生徒を対象に、家庭で読書する習慣を身に付ける「うちどく」事業を始めます。家族との読書を推進し、家族間コミュニケーションや、子どもの言語力向上や、学力向上を図ろうとするもので、学校、保育園、幼稚園はもとより、公民館、図書館など町を挙げての協力体制で臨むことにしております。

〔共に支えあい、健やかに暮らせるまちとする〕

次に、施策目標「共に支えあい、健やかに暮らせるまちとする」についてでございます。

まず、高齢者施策でございますが、「第5期介護保険事業計画」の基本理念のもと、介護保険事業の円滑な運営に努めるほか、新たなサービスである「定期巡回・随時対応型 訪問介護看護」の提供体制を整備するとともに、地域健康センター等を拠点としまして、体操リーダー養成講座の修了者の協力を得て、高齢者の生きがいづくりや介護予防の取組を積極的に推進してまいります。

また、地域支援体制の推進を図るため、「地域包括支援センター」の機能強化や、地域での見守りネットワークの充実を図ってまいります。

障害者施策につきましては、腎臓障害者通院助成を拡充するほか、発達障害を含めた乳幼児期から成人期までの一貫した相談支援体制の推進を図ってまいります。

また、「第3期障害福祉計画」に基づき、障害者や障害児への「地域生活支援サービス」の提供に努めるほか、災害時に

自力で避難することが難しい障害者のため、災害時要援護者避難支援体制の構築に着手いたします。

さらに、町内における障害者の自立促進、雇用促進への取組として、先般、NPO法人「熊野人材センター」が、福祉作業所「ハナミズキ」を開所されました。町としましても、この取組に大きく期待しており、今後、事業拡大が図られ、一人でも多くの障害者の雇用が確保できるよう積極的な支援を行ってまいりたいと考えております。

感染症対策としましては、定期予防接種に加え、<sup>しきゅうけい</sup>子宮頸がん予防ワクチン等の任意接種事業を継続実施するとともに、住民の身近な地域医療を確保するため、休日や夜間の救急医療体制を確保するほか、県や他の市町、大学や医師会などとともに、<sup>へんざいかいしょう</sup>医師や診療科の偏在解消などの課題に取り組んでまいります。

〔住民の誰もが尊重され、活躍できるまちとする〕

次に、施策目標「住民の誰もが尊重され、活躍できるまちとする」についてでございます。

ふれあいのある地域社会の形成といたしまして、県道瀬野呉線の道路拡幅に伴い移転が必要となりました新宮老人集会所を、新宮コミュニティーセンターとして整備いたします。



また、住民参加型のまちづくりを推進するため、財団法人民間都市開発推進機構の資金拠出を受けて、住民団体などが自主的かつ持続的に取り組む、まちづくり活動のハード整備に対して助成を行ってまいります。

〔住民が創造力を発揮できるまちとする〕

次に、施策目標「住民が創造力を発揮できるまちとする」についてでございます。

生涯にわたって学べる環境づくりへの取組といたしまして、新年度も数々の芸術文化振興事業を行ってまいります。

広島県の進める平和発信コンサートの一環として実施する、広島交響楽団「弦楽四重奏の夕べ」や、国の補助金を活用する「公共ホール活性化・木管五重奏公演」では、メインコンサートのほか、福祉施設や中学校での交流活動も実施いたします。さらに、来年1月には、人間国宝級の能楽師を招き、平家物語をテーマとする本格的な能楽と狂言の公演を予定しております。

また、地域の生涯学習の拠点である公民館につきましては、町内3館の連携強化を図るほか、町民会館の老朽化した舞台音響設備の改修を行います。町立図書館につきましては、図書シ

システムの全面更新を行い、利便性を高め、利用者の拡大を図ってまいります。

この他、第50回大会となる町民体育大会や、第40回となる熊野駅伝大会をはじめとする、生涯スポーツの振興に関しましては、引き続き、NPO法人熊野健康スポーツ振興会と連携して実施してまいります。

〔暮らしの基盤が整ったまちとする〕

次に、施策目標「暮らしの基盤が整ったまちとする」についてでございます。

まず、広域的な道路整備状況では、4月1日に東広島・呉自動車道の黒瀬から阿賀までの区間が開通することとなり、縦横的な都市間移動が確保できるものと期待しております。

町内の道路整備でございますが、県道矢野安浦線では、深原地区の熊野黒瀬トンネルが25年度開通へ向けて、掘削工事が本格的に開始されます。また、本年度に引き続き、川角交差点から東側の榎ヶ迫交差点付近と、道垣内交差点付近の用地買収・物件補償が実施される予定です。

一方、瀬野呉線の整備につきましては、長年の念願でありました新宮地区の矢野安浦線と瀬野呉線を接続する瀬野呉線

バイパスが、本年度、広島県道路整備計画に位置づけられました。新年度は詳細設計が実施される予定であります。

この他、県事業として呉地・出来庭地区では、橋梁架設工事と併せて町道昭和線に接続する道路工事が予定され、新宮地区におきましては歩道設置を目的とした、交通安全施設等整備事業が実施される予定でございます。

次に、砂防事業では、本年度、雲母地区<sup>きらら</sup>砂防堰堤事業が着手され、新年度は用地買収が実施される予定でございます。

以上の県事業につきましては、事業主体の広島県及び関係機関に、引き続き早期の完成を強く要望するとともに、事業の円滑な推進に全面的に協力してまいります。

続いて、深原地区町有地造成事業でございますが、熊野黒瀬トンネル、東広島・呉自動車道など周辺道路の整備により、本町を含む周辺地域の交通機能が強化され、交通、流通の拠点としての位置づけが確立されるものと考えております。

今後の工事につきましては、4月には調整池工事が完了し、引き続き砂防堰堤の築造工事などを行う予定となっており、計画どおり順調に進捗しております。

続きまして、暮らしやすい住宅の提供についてでございますが、町営住宅は、コーポラス熊野を含めた 116 戸のうち、約 3 分の 1 が建築後 40 数年経過した木造住宅でございます。

昨年 10 月に県が「県営住宅再編 5 年計画」を策定し、県営住宅施策の見直しを行いました。こうしたことから、熊野町におきましても、今後の住宅施策を総合的、計画的に推進するため、新年度「町営住宅長寿命化計画」を策定することとしております。

次に、公共下水道事業でございますが、新年度も新宮地区及び平谷地区の一部におきまして、約 8 ヘクタールの整備を予定しており、完了後の普及率は、約 90 パーセントとなる見込みでございます。

続いて、上水道事業でございますが、本年度に引き続き、高所配水団地水道施設の整備として、皇帝ハイツ及び湖水園団地の整備を行うとともに、新宮地区を中心とした未給水地区の整備を進めてまいります。

〔日常生活を快適に暮らせるまちとする〕

次に、施策目標「日常生活を快適に暮らせるまちとする」についてでございます。

近年、バス路線の廃止、高齢化の進行などもあいまって、多くの住民から要望が挙がっておりました「生活福祉交通」につきましては、本年度、住民を交えたワークショップを開催するなど、計画策定を進めてまいりました。

新年度は、この計画に基づき、試験運行を行いますが、あくまでも試験運行であり、ルートなどは住民皆様の御意見、要望により、柔軟に対応してまいりたいと思います。

続いて、日常生活に密接に関連する町道の整備でございますが、東部地域では、「深原公園線」の第3期工事を継続して実施してまいります。西部地域では、「出来庭川角中央線」の新設事業を継続して実施してまいります。また、熊野団地内の「団地2号線」の舗装修繕工事を引き続き実施いたします。その他の町道につきましても、拡幅、退避スペースの設置など、一部改良を適宜実施してまいります。

〔安全に安心して暮らせるまちとする〕

次に、施策目標「安全に安心して暮らせるまちとする」についてでございます。

まずは、防災・減災対策でございます。

東日本大震災を始め、近年の集中豪雨による全国的な大規模災害の発生などから、住民の皆さんの防災意識は高まっております。

そうした有事に備えて、住民と行政が一体となって被害を最小限にとどめるよう、実効性のある自主防災組織の確立、あるいは総合防災訓練を実施いたしますとともに、備蓄計画に基づき、非常用食料や生活用具などの備蓄物資の購入を、計画的に進めてまいります。

また、防災行政無線放送につきまして、聞き取りにくい方や、聞き取りにくい地域などの対策といたしまして、電話により放送内容が確認できる電話音声案内装置を設置いたします。

〔地球環境に調和したまちとする〕

次に、施策目標「地球環境に調和したまちとする」についてでございます。

まず、環境対策といたしまして、本年度、省エネの観点から、県の補助金を活用して、2千灯余りの防犯灯をLED化しております。また、同じく、補助金を活用して、21年度から3年間、住宅用太陽光発電システム等普及促進事業を進めてまいりましたが、24年度から県の補助がなくなります。

しかしながら、住民の皆さんの要望あるいは町全体で地球温暖化の防止及び環境保全に取り組む姿勢を示す意味からも、新年度におきましても単独町費で事業を継続することといたしました。

続きまして、農業振興対策でございます。

本年度、鳥獣被害対策実施隊を組織したことや箱罾等の駆除設備を拡充したことなどにより、イノシシ 124 頭、ヌートリア 18 頭を捕獲するなど、一定の成果がございましたが、新年度は更なる農業被害の低減のため、引き続き電気柵等の防除施設の設置補助や鳥獣被害対策実施隊によるイノシシの駆除を続けてまいります。

また、町内で急速に繁殖し、被害が拡大しているヌートリア対策といたしまして、農家の方が、<sup>みずから</sup>自ら捕獲することができるよう、講習会を開催いたします。

〔元気のある産業が育つまちとする〕

次に、施策目標「元気のある産業が育つまちとする」についてでございます。

伝統産業である熊野筆産業の持続的な発展のため、熊野筆事業協同組合が行う筆職人後継者育成事業や、筆の日実行委

員会、筆まつり実行委員会への助成など、筆産業の振興に努めてまいります。

次に、商工対策といたしまして、熊野町商工会の運営を支援しながら、10%のプレミアムを付加した商品券を1億1千万円分発行し、町内消費の拡大と町内商店、事業所の活性化を図りたいと思います。今回は商品券の発行にとどまらず、買物スタンプラリーや、BUY熊野キャンペーンを連動させ、より効果的な地元購買促進事業を展開します。

また観光対策として、広島県の推進する海の道構想に沿って、広島県観光連盟、呉地域観光連絡協議会等と連携を深め、地域資源を活用した観光圏の広域化を推進いたしますとともに、宿泊施設の対策として、民泊事業の導入を検討してまいります。

さらに、広島県緊急雇用対策基金事業を活用し、産業観光の情報発信や体験事業の充実に努め、社会科見学や修学旅行の誘致等に努めます。

〔筆産地の歴史と文化を生かした出会いと交流のあるまちとする〕

次に、施策目標「筆産地の歴史と文化を生かした出会いと交流のあるまちとする」についてでございます。



まず9月下旬から筆の里工房において、東京国立博物館の特別協力によりまして、約6年をかけて復元・模写した「平家納経」全33巻や、源氏物語をお借りし、「よみがえる王朝のみやび展」を開催いたします。

また、広島県緊急雇用対策基金事業を活用し、東京中心部に、「熊野筆セレクトショップ」を出店し、熊野筆の情報発信に努めます。

さらに、東日本大震災で大きな被害を被<sup>こうむ</sup>られた石巻市で開催される「文房四宝まつり」に参加するとともに、雄勝硯の産地復興を著名人や文化人から寄せられたメッセージにより支援いたします。

また、筆の都としてふさわしいシンボリックなモニュメントを、この庁舎付近に設置することを検討しております。

最後に、新年度の新たな取組といたしまして、熊野町の全国への情報発信、地域活性化などを目的に、東京六大学の一つであります法政大学と包括的な地域連携協定を結ぶこととしております。法政大学は地域活性化というテーマに熱心に取組まれており、全国の先進的な地方公共団体と協定を結ん

でおられます。熊野町も法政大学が有する多分野に渡る情報やノウハウを活用させていただくとともに、法政大学と協定を締結している先進的な地方公共団体と交流を図り、開かれた町づくりを更に推進したいと思えます。今月末に総長が来広され、熊野町役場で調印式を行う予定であります。

〔新年度予算の規模〕

以上の施策を中心に、予算編成を行いました結果、平成 24 年度の一般会計の当初予算額の総額は、約 73 億 9,641 万円となり、本年度と比べ 0.8%の減となっております。なお、27 年度から導入予定でございます、固定資産税の市街地宅地評価法、いわゆる路線価方式につきましては、新年度より 3 年間の債務負担行為を設定し、準備を進めてまいります。

また、特別会計につきましては、4 会計で約 66 億 5,332 万円、本年度と比べて 1.5%の増、企業会計である上水道事業会計については、約 6 億 209 万円、本年度と比べて 18.4%の減となっております。

以上、平成 24 年度の当初予算及び主要施策の基本的な考え方を申し上げます。

終わりに、今後も、住民の視点に立ち、第5次熊野町総合計画に沿ったまちづくりに全力を傾注してまいりたい所存でございますので、諸施策の推進につきまして、議員各位を始め、住民の皆様の格別なる御理解と御協力を賜りますようお願いを申し上げます。平成24年度の施政方針とさせていただきます。